甲6号証

月刊

TIMES

2009
10
OCT.
MONTHLY
MAGAZINE

解体への道を歩み始めた自民党
民主党政権で日本の司法は変わるか
ネット社会と〝情報操作〟の陥穽

謝 罪 文

織原城二殿

当社が発行する「月刊 TIMES」誌上において、当社はこれまで他のメディア同様、貴殿に関する多数の真実とかけ離れた虚偽の記述を行いましたが、それらは虚偽事実を広めるとともに貴殿の名誉を著しく毀損するものでありました。

当社が行った貴殿に関する多数の虚偽事実の報道が、外人ホステスクラブのホステスであったルーシー・ブラックマンの親族などに誤解を与えていることや、貴殿の名誉を著しく毀損してきたこと、並びに名誉感情を著しく害したことについて、貴殿に対し深く謝罪いたします。

平成 21 年 5 月 21 日
株式会社 月刊タイムズ社

Article of Apology

To Mr. Joji Obara

In the "Monthly TIMES" magazine published by our company, as by other media, we have made many false statements about you that are far from the truth, but these have spread false facts and seriously damaged your reputation.

We apologize for the numerous false reports we have made about you, which have given rise to misunderstandings about the relatives of Lucy Blackman, a hostess at a foreign hostess club, and have seriously damaged your reputation. We sincerely apologize to you for seriously hurting your sense of honor.

May 21, 2009
Monthly Times Co., Ltd.

記し、「死者の証言は多面的である。レイテ島の土はその声を聞こうとする者には聞こえる声で語り続けているのである。」と結んでいる。

歴史認識に支えられた憲法解釈

戦争という惨めな時代を再来させないために、9条があり、そのことによって13条・個人の尊重、幸福追求の権利が実現される。

9条・戦争の放棄なくしては国民個々人の幸福追求権の行使はできない。13条を具体的に実現するための14条、以下40条までの、例えば法の下の平等（14条）、思想及び良心の自由（19条）、信教の自由（20条）、表現の自由（21条）、生存権保障（25条）、教育を受ける権利（26条）等々の具体的権利の実現は、9条の実現なくしては出来ないのである。

今、このような歴史的経緯を無視し、あろうことか憲法13条を根拠に9条を空洞化させようとする言がなされはじめている。すなわち、13条・個人の尊重、幸福追求の権利の保障によって、国家に個人の生命、身体の安全を保障する責務が発生し、そのために軍事力を保持し、それを強化すべきだと言う論である。

論理としてはそのようなものも可能かもしれない。

「国家当然の法理」「注2」などの論で憲法違反の政府の行為を糊塗することを業としてきた内閣法制局の官僚達が言い出しそうな論だ。〈論語読みの論語知らず〉という語句があるが、その伝に習えば〈憲法読みの憲法知らず〉である。

憲法解釈は論理だけではなく、何よりも歴史認識、すなわちこの憲法が戦争の悲惨さの中から生まれ、それを再来させないために生まれたものであることを踏まえてなされなければならない。

戦争の悲惨さについての想像力の欠如

日本は「侵略国家ではなかった」と主張し罷免された田母神俊雄前航空幕僚長――最近では公然と核武装を唱えている――が今年8月6日、広島で「ヒロシマの平和を疑う」と題して講演するという。

秋葉忠利広島市長は、表現の自由は憲法の保障するところであるが、8月6日は広島にとって特別な日であるとして、講演日程の変更を求めた。8月6日の広島、同9日の長崎は、人類にとって記憶されるべき日でなくてはならない。

4月5日、オバマ大統領は、チェコ・プラハでの演説で、「米国は核兵器を使った世界で唯一の大国として〈核廃絶のために〉行動する道義的な責任がある」と述べた。

7月27日付東京新聞は「ドイツで原爆慰霊　投下命令の地　灯籠流し」という見出しで、7月25日ドイツ・ベルリン郊外のポツダムで、トルーマン米大統領が宿舎にしていた「トルーマン・ハウス」の裏に広がるグリープニッツ湖で原爆犠牲者を追悼する灯籠流しが行われたことを写真付きで報じている。人類史上初めての原爆投下が1945年7月25日ポツダム会談に出席していたトルーマン米大統領の承認によってなされた。

田母神氏側は講演を予定どおり行うという。戦争の悲惨さに想像

謝罪文

織原 城一 殿

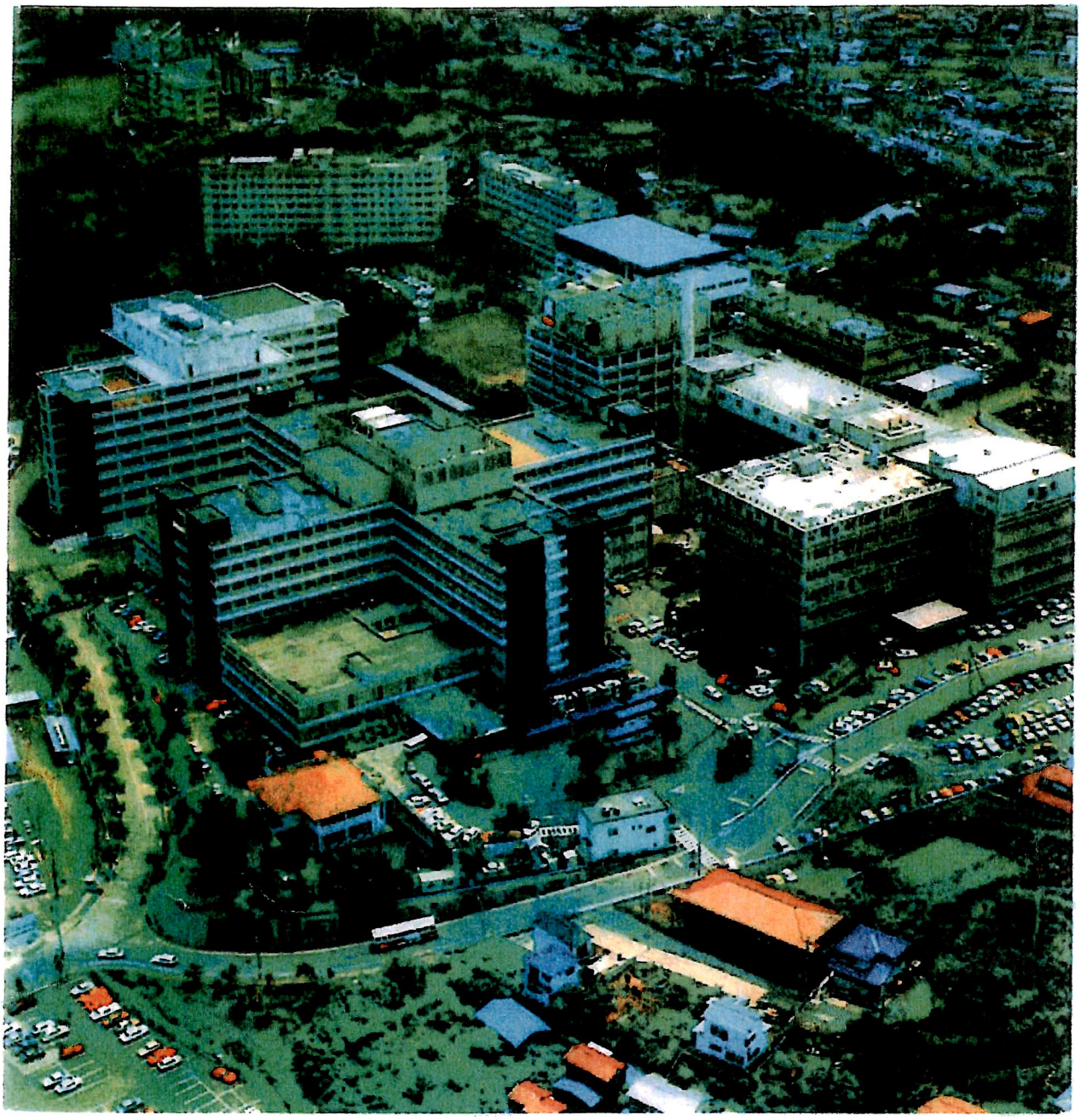
当社が発行する「月刊TIMES」誌上において、当社はこれまで他のメディア同様貴殿に関する多数の事実とかけ離れた虚偽の記述を行いましたが、それらは虚偽事実を広めるとともに貴殿の名誉を著しく毀損するものでありました。

当社が行った貴殿に関する多数の虚偽事実の報道が、外人ホステスクラブのホステスであったルーシー・ブラックマンの親族などに誤解を与えていることや、貴殿の名誉を著しく毀損してきたこと、並びに名誉感情を著しく害したことについて、貴殿に対し深く謝罪いたします。

平成21年5月21日

株式会社　月刊タイムス社

昭和五十六年十一月二十八日第三種郵便物認可
平成二十一年九月十日発行第三十三巻第八号（毎月一回十日発行）



聖マリアンナ医科大学

St. Marianna University, School of Medicine

本学は聖マリアンナ会の崇高な諸活動を基盤とし、進みゆく医学の研究、教育の中心であると同時に、「生命の尊厳」にもとづく医師としての使命感から人類社会に奉仕する人間の育成、専門的研究の結果を人類の福祉のために生かしてゆく人材養成を目的としている。

〒216-0015 神奈川県川崎市宮前区菅生２丁目16番地１号　☎044(977)8111(代)

雑誌13441-10　Printed in Japan 2009　印刷・㈱上野印刷所

発行所　株式会社月刊タイムス社　定価五三〇円　本体五〇五円